3) グループ別・全体討議 「市民とは誰か」

自治基本条例を検討する際に、最も基本的な条項としての「市民」の範囲を他市の条文を踏まえながら考えました。グループ別でまず議論し、それを全体で共有しました。なお、今回は全体での結論を出すことが時間切れで出来ませんでしたので、次回以降の会議に議論を持ち越すことになりました。

各班毎の意見（結論ではない）	1班	2班	3班	4班
市内に住所を持っている者	結論出ず			結論出ず
市内に居住する者				
市内で就業する者		×		
市内で就学する者		×		
市内に事務所を有する法人その他の団体				
市内で活動する法人その他の団体				
市内で活動する者			×	
利害関係を有する人や団体		×	×	
納税者			×	
在縁市民、交流市民			×	

限定：愛川町など（市民とは別に市民等、という概念が用意されている）

- ～：大東市（事業者を別枠で定義している）
- ～：知立市他（もっとも採用している自治体が多い）
- ～：川崎市
- ～：草加市
- ～：九重町

を含むもの：泰阜村

出典：自治基本条例の作り方 松下啓一（ぎょうせい）